

《巻頭特集》 東観推サポートデスク（香港・ASEAN・中国）

●海外から東北へ！海外に東観推のサポートデスクを設置しています。

東観推では、中国・ASEANに加え、今年度から香港にも東観推サポートデスクを設置しています。現地に拠点を置くことで、各市場のニーズや動向など、リアルな情報を収集するとともに、現地の旅行会社等とのネットワークを構築しています。現地サポートデスクとの連携を活かし、各市場の特性に合わせた効果的な情報発信やプロモーションを展開することで、東北の魅力を海外へ届け、さらなる誘客につなげています。

●東観推サポートデスクとは…？

海外現地に設置した、東北の観光プロモーション等を支援する拠点です。東観推や現地の旅行会社等と連携し、旅行者のニーズや市場の最新動向など、現地だからこそ得られる情報を収集するとともに、東北の観光PRや情報発信など様々な活動を行っています。

●東観推サポートデスク設置市場および活動内容と特徴

各市場のサポートデスクでは、主に以下のような業務を行っています。

セールスコール

観光セミナー

SNS情報発信

毎月レポート発行

旅行博・イベント
出展業務

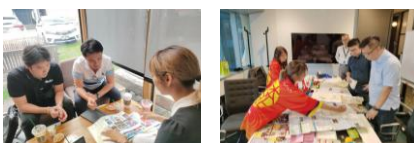
各市場のサポートデスクの特徴は以下のとおりです。

香港



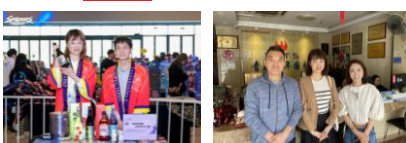
香港市場は、東北を訪れる旅行者が多いボリュームマーケットです。2024年12月、13年ぶりに就航した仙台・香港直行便は、東北への誘客と周遊促進を支える重要な路線となりました。現在は、香港エクスプレスのみの運航となっていますが、今冬ダイヤからグレートバイ航空が運航再開の予定であり、新たな需要も期待できます。直行便の維持・拡大には、市場ニーズを迅速かつ的確に捉えた誘客施策が必要なことから、今年度より香港サポートデスクを新設しました。サポートデスク、現地旅行会社等と連携し効果的で継続的なプロモーションに取り組んでいます。

ASEAN



ASEAN観光サポートデスクでは、複数の市場を長年にわたり担当し、各市場の旅行会社等とのネットワークと信頼関係を築いてきました。現地で得た旅行者や旅行会社の声をもとに、今後の事業展開やプロモーションの方向性を考え、東観推の事業にも企画段階から参画しています。市場ごとの特性を踏まえた提案を重ね、幅広い事業に対応しています。また、実際に東北を訪れて最新の観光情報を収集し、現地での提案に生かすなど、複数市場に精通した知見と東北への理解を生かし、現地と東北を一気通貫でつないでいます。

中国



中国サポートデスクでは、日中関係や市場環境の変化を踏まえ、セミナーや招請事業、イベント出展など有効なプロモーションに取り組んでいます。また、今年度より東観推では中国のSNS「RED（小紅書）」を開設し、SNSでの情報発信にも注力しています。また、中国サポートデスクでは、各自治体との連携事業も担当しています。サポートデスク業務と自治体連携事業を一体的に運営することで、より効果的な施策を実施しています。変化する市場環境を的確に捉えながら、今後の旅行需要の回復・拡大を見据え、継続的な取り組みを進めています。

●各市場サポートデスクより最新の市場動向について

＜香港（2026年度より新設置）＞

香港市場における旅行日数は、5～7日間が主流となっており、航空券や宿泊費、燃油サーチャージの上昇が続く中、限られた日数・予算でより充実した観光体験を求める傾向が強まっていることから、単に費用の安さを前面に出すのみの集客は難しくなっています。

また、東北は紅葉や雪景色など秋冬ならではの季節性の高い魅力が評価されている一方で、グリーンシーズンの訴求力不足といった課題もあるため、例えば、商品造成においては、季節性の高い観光資源に加え、東北ならではの新たな観光コンテンツや体験等を組み合わせるなど、旅行先としての付加価値を高め、PRしていくことが重要と考えます。さらに、香港での旅行博や観光セミナーなどを活用し、旅行商品の販売と地域の食・文化体験を連動させたプロモーションも有効です。こういったことを踏まえながら、今後も東北のさらなる誘客につなげる活動に引き続き取り組んでまいります。

＜ASEAN＞



ASEAN市場では、航空路線や旅行費用など訪日旅行を取り巻く環境に変化が見られる一方、個人・小グループによる自由度の高い旅行が広がっています。レンタカーや専用車を利用して周遊する旅行も増えており、これまでアクセス面から訪問先として選ばれにくかった東北の地域にも、新たな誘客の可能性が生まれています。

また、これまで首都からの訪日旅行が中心だった市場においても、チェンマイ、ペナン、ジョホールバル、セブ、スラバヤなど地方都市からの訪日需要が広がっており、地方都市を起点とした東北への旅行にも動きが見られています。

タイ市場では、2025年12月から2026年4月まで運航された仙台・バンコク線について、2026年10月から予定されていた運航再開が見送られました。一方、現地では東北への旅行需要は引き続き堅調で、成田・羽田などを経由して東北を訪れる旅行についても、需要が見込まれています。

＜中国＞



昨年末からの中国政府による訪日自粛の呼びかけ、旅行社への規制が現在も続いています。併せて、中国各地からの日本便は運休、減便が相次ぎ、訪日客数は前年比で半減しています。

この逆風の中、訪日している中国人観光客は基本的に日本が好きなりピーター層だと考えられます。すでにゴールデンルートや北海道は体験済みであり、未知の地方都市を目指す動きが顕著となっており、東北はその対象になっています。特に冬季はスキー需要が年々高まっています。

また、現在の中国において、旅行関連情報の収集はSNSがメインとなっております。地元のイベント、四季折々の行事や祭りなど、他にはない独自性が高い東北の文化を高品質な写真とともに紹介することが求められています。

●マーケティング報告会とサポートデスクレポート

東観推では、毎年各市場のサポートデスクを仙台に招き「マーケティング報告会」を開催しています。報告会では、各市場の最新動向や効果的なプロモーションについてなど、現地からの情報を直接得られる貴重な機会となっています。今年は11月27日（金）にTKPガーデンシティ仙台で開催予定です。

また、各市場のサポートデスクによるレポートを毎月1回、東観推の会員専用ページに掲載しています。リアルタイムに近い形で各市場の最新情報をご確認いただけます。観光市場の動向をより深く知り、今後の取組みに活用いただくためにも、ぜひこの機会に東観推会員へのご入会をご検討ください。



【2025年度 マーケティング報告会】

◆ インバウンド

・8/17～18 豪州「Japan Roadshow 2026」

8月17日（月）にメルボルン、18日（火）にブリスベンで開催された訪日観光セミナー・商談会「Japan Roadshow 2026」に参加しました。

2025年の訪日豪州人数が過去最高となる100万人を突破し、日本への関心が高まる中、現地の旅行会社33社と商談を行い、東北の認知度向上および旅行商品造成の促進に向けたプロモーションを実施しました。

豪州市場では桜やスノーアクティビティに加え、より深い日本の文化体験を求める旅行者が増加しており、地方、特に東北への注目が高まっています。

今回の商談会では、JRパスを活用した周遊プランや「みちのく潮風トレイル」、伝統的な文化体験などの具体的なコンテンツを紹介し、東北への理解と商品造成イメージを深めていただく機会となりました。今後も継続的なフォローアップとプロモーションを通じて、東北への誘客促進に努めてまいります。



【訪日観光セミナーの様子】



【商談会の様子】

・8/21～23 シンガポール「NATAS Holidays 2026」

シンガポール旅行業協会（NATAS）が主催する一般消費者向け旅行博「NATAS Holidays」に出展しました。東北としての出展は久々となりましたが、多くの来場者がブースを訪れ「東北はどこ？」という認知段階の質問から、訪日旅行を見据えた具体的な周遊相談まで、東北への関心は幅広いものでした。

来場者は50代を中心に、他市場と比べてやや高い年齢層となりました。一方、訪日3回以上が56%、11回以上も10%を超えるなど、訪日経験の豊富な旅行者が多いことが特徴です。それでも約7割は東北未訪問であり、日本を繰り返し訪れる旅行者にとって、東北はまだ新たな旅先として開拓の余地があります。

旅行日数が長く、旅行消費額も高い上、訪日リピーターも多いシンガポール市場。今回の出展は、こうした旅行者に東北を知ってもらい、次の訪日先として選択肢に加えてもらうための有効な機会となりました。



【東北ブースの様子】

◆ 教育旅行

・8/21～23 東北教育旅行現地研修会

全国修学旅行研究協会の協力のもと、東北への教育旅行誘致を目的とした学校関係者向けの現地研修会を実施しました。

今回は秋田県・青森県での実施だったことから、東京都をはじめ、栃木県や埼玉県から多くの学校関係者にご参加いただきました。

秋田県では、男鹿市や仙北市を中心に地域に根づく伝統や文化を視察しました。

青森県では、弘前市や五所川原市などで祭りの展示を見学し、地域が誇る伝統文化を間近で体感していただきました。また、青森市の三内丸山遺跡の視察では、参加者から「教科書に載っているものを実際に目で見て体験することは、学びを深めるうえで非常に貴重な機会になる。」といった声をいただきました。

さらに、両県の宿泊先で開催した教育旅行セミナーでは、秋田・青森ならではの教育コンテンツを受入団体から紹介いただき、参加された先生方から高い評価を得ることができました。

今後も現地研修会を通して、東北の探究学習コンテンツの魅力を学校関係者に伝えていくことで教育旅行の誘致推進に取り組んでまいります。



【なまはげ体験の様子】



【立佞武多の館視察の様子】

◆ アドベンチャートラベルモデルルート形成促進事業

・8/21 ATガイド育成研修（第1回）

東観推では、アドベンチャートラベル(AT)の受入強化において不可欠な「ATガイド」の育成を目的とした研修を実施しています。

第1回目の座学講義はオンライン開催で、アーカイブ視聴を含め50名の方に参加いただきました。講師には株式会社ツアーデザイナーズの宗像愛さまをお招きし、ATガイドとして重要な心構えや事前準備、身につけるべき知識などが旅の体験価値を高めるという視点からお話いただきました。

今後は、北東北と南東北のそれぞれで、ガイドとしての基礎知識や実践的なスキルを学ぶ研修を実施予定です。

・8/25～8/28 AT素材掘り起こしワークショップ

新たなATコンテンツになりうる素材の掘り起こしや、課題整理・磨き上げを地域一体となって取組むことを目的としたワークショップを、仙台・山形・八戸・盛岡の各地で開催しました。

各回、東北の第一線で活躍するガイドの方々をお招きし、それぞれの取組みやコンテンツ造成に関する経験を共有いただいたうえで、地域の潜在的な観光資源についてATの視点からディスカッションを行うグループワークを行いました。

今回のワークショップを通じて掘り起こしがなされたAT素材は、今後のモデルコース作成の検討材料として活用していく予定です。



【ワークショップ（仙台）の様子】

◆ 人材育成

・8/27～28 第3回フェニックス塾を福島県で開催

東北の観光を担う若手の育成を目的にした第十一期フェニックス塾の3回目を、福島県郡山市と浜通りで開催しました。今年度初めての宿泊を伴う塾です。

1日目は、第一部に福島県観光物産交流協会の高橋良司さまを講師にお迎えし、「人はなぜ旅をするのだろう ～ホープツーリズムから考える旅と学び」と題したご講演をいただきました。

第二部の塾生によるワークショップでは、前回に続けて今後の提言テーマの設定に向けたディスカッションを行いました。その後、全員で浜通りのJヴィレッジへ移動し、塾生、会長を含めた東観推スタッフ、講師の高橋さまと会食をしながら様々な意見交換を通じて親交を深めました。

2日目は、F-ATRAsのトリシットさま、スワスティカさまに全面協力いただき浜通りをフィールドワークしました。とみおかワイナリーの視察や双葉町のまちあるき、東日本大震災・原子力災害伝承館、浅野燃糸フタバスーパーゼロミルの見学などを通して浜通りの現状や魅力を体感しました。フィールドワークの成果は第5回塾の時に各班から発表いただきます。



【セミナー講演】



【ワークショップ】



【F-ATRAs取組み紹介】



【双葉町まちあるき】



【とみおかワイナリー】

東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (日本東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.facebook.com/tohokutourism.tw/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip	
	【Instagram (Tohoku Tourism_Japan) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_japan/	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	
	【RED (日本東北観光)】 https://xhslink.com/m/60Jj6UTE74u	



【田舎館村田んぼアート（青森県）】



【清津峡（新潟県）】



【碓氷海岸（岩手県）】

2026年5月から
始めました！

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関係する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけて投稿いただいた中から、素敵な投稿をリポストさせていただきます。（リポスト前には、事前にメッセージで確認させていただきます）

リポストは東北観光推進機構のInstagramとFacebook（旅東北 東北観光推進機構）の両方で投稿します。

【発行】（一社）東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階 【Email】 info-ttpto@tohokutourism.jp

【TEL】 022-721-1291 【FAX】 022-721-1293

